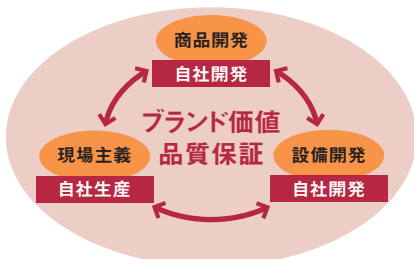
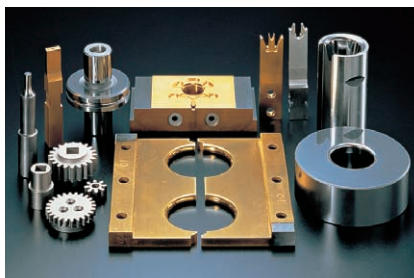


YKKグループは、お客様の声に耳を傾け、独自の発想力と確かな技術力で質の高い商品を提供しつづけ、これからの暮らしと社会に、先進の快適性をお届けする企業を目指します。



品質保証の取り組み



各種部品。金型から自らの手で製作



自社開発の世界同一ファスニングマシン

お客様に対する考え方:すべての生活者、消費者を評価者と位置づけ、お客様の声を「真摯」に受け止め、常にお客様の満足を最優先に行動しています。

お客様の声は、関係部署へ迅速に展開し、商品開発、品質向上など企業活動の改善に役立てています。

品質に対する考え方:お客様に最高の品質をお届けし、それを保証するために、YKKグループでは、「完全一貫生産体制」のスタイルを守りつづけています。原材料から製品化にいたるまでの全工程を自社で行い、また一般的なメーカーであれば外部から調達している生産設備の開発までも自らが手がけています。

1950年代初頭、当時アメリカからの輸入品に全面的に依存していたファスナー製造機械を自社開発したことに端を発し、以来さまざまな生産機械を考案・開発し、今では、金型からコンピュータシステムまで「製造」に関するあらゆる技術を自社で手がけています。

また、グローバルアカウントに対応すべく、グローバルスタンダードを目指し、「世界同一技術、同一機械、同一品質」をコンセプトに差別化された生産ラインの開発に挑戦しています。それが世界品質にふさわしいオリジナリティの創出につながっています。

PL（製造物責任）:製品に不具合が生じ、損害が発生した場合、民法のルールでは、①人的、物的損害が発生すること、②損害発生とその原因に因果関係があること、③損害発生が故意又は過失から発生すること、の3つの証明が必要でした。

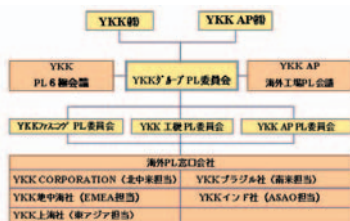
しかし、PL法（1995年7月施行）のルールでは、商品の欠陥を証明することでメーカーへ損害賠償を追及できるようになり、ユーザーがメーカーの責任を追及することが簡単になりました。

YKKグループは、企業の社会的責任として、より安全な製造物を消費者または使用者に提供することを基本方針とし、YKKグループPL委員会を設置して総合的PL対策を推進しています。

同委員会には、「YKKファスニングPL委員会」、「YKK工機PL委員会」、「YKK AP PL委員会」が設置され、海外会社と緊密なグローバル・ネットワークのもと、世界6極体制で各事業分野のPL活動を積極的に行っています。

YKKグループ社員にとってPLとは・・・

一人ひとりの業務を通して、「安全で安心してお使いいただける商品をお客さまに提供する」ことです。



YKKグループPL委員会組織



YKKグループのPL世界6極体制

